

熊本地震による甚大な被害の発生

4月14日、16日に発生した熊本地震では、死者49名、住宅被害41,907棟等の甚大な被害が発生しました。
(5月16日時点、消防庁情報)

被害の状況と復旧支援

今回の地震では、山崩れなどの林地被害が、熊本県で372箇所、大分県19箇所発生したほか、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県でも被害が確認されました。また、林道(141路線)や木材加工施設での被害も発生しました。(5月16日時点)

林野庁及び九州森林管理局(熊本市)では、これら被害の把握と早期の復旧に向けて、地震発生直後から熊本県や森林総合研究所などと協力し、ヘリコプターによる被害状況調査(4月15日、4月18日、5月2日)や現地調査を行うとともに、技術職員を県・市町村に派遣して、被災した治山・林道施設等の復旧に向けた技術支援に取り組んでいます。

また九州森林管理局は、発災当日から庁舎内の会議室を避難所として開放し、備蓄物資とあわせて近隣住民の方々にご利用いただきました。(最多時約250名)さらに、近隣の避難所に対しても、隣接局や林業・木材関係団体から提供された水・食料、生活物資等をお届けしました。4月末からは、職員を自治体に派遣して、罹災証明手続きの支援にあたっています。

林野庁・九州森林管理局では引き続き、これまでの取組を継続しつつ、加えて梅雨期などの降雨による二次災害を防止するための技術者派遣の継続、災害復旧事業の早期実施、被災者生活再建に向けた木材供給等に全力で取り組んでまいります。

なお、林野庁における熊本地震への対応状況は、林野庁ホームページでもお知らせしています。

◆ホームページ：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/jisin/kumamoto.html>

● 林野関係被害状況



熊本県南阿蘇村河陽地区



熊本県阿蘇市狩尾地区



熊本県大津町林道菊池人吉線

● 被害状況調査の様子



合同現地調査(熊本県阿蘇市狩尾地区)



ヘリコプターによる
林地崩壊等の被害状況調査



合同現地調査
(熊本県阿蘇市尾ヶ石地区)

● 支援活動



備蓄食料等を配布



物資集積拠点での支援活動



森林管理局会議室を避難所として開放